

# 植樹イベント

1949年に創立された信州大学工学部は、2019年に70周年を迎えます。それらを記念し講義棟北側に記念植樹を行います。植樹は2016年に天皇・皇后両陛下(当時)が全国植樹祭で長野市に訪れた際に種まきされたものが苗木になり寄贈されたものです。今後、工学部のシンボルツリーとして大切に育てていきたいと思っております。

5/23-6/5

講義棟北  
中庭  
造園整備中



日時 2019年6月5日(水) 12:30-12:50  
信州大学工学部 C3(講義)棟北側中庭

## シラカバ(正式名称はシラカンバ)

【分類】カバノキ科/カバノキ属  
落葉広葉/高木

【学名】*Betula platyphylla* var. *japonica*

「長野県の木」として昭和41年に指定されている白い樹皮の木で高原のシンボルとして愛されています。家具材や屋内の内装に使われるほか、樹液は人工甘味料キシリトールの原料として使われています。

平成天皇と皇后が出会った軽井沢に多くあり、美智子上皇后の「御印(=持ち物等に記すマーク)」にもなっています。



## ナナカマド

【分類】バラ科/ナナカマド属  
落葉広葉/小高木

【学名】*Sorbus commixta*



平野部から高標高地まで県内に広く分布し、街路樹や庭園木として長野県民に親しまれています。

初夏には白い花を、秋には赤い実と紅葉が美しいなど四季折々の季節感がある樹種です。秋につけた房になった赤い実は、冬季の鳥たちの大切な食料となり、多くの鳥の食餌木として知られています。



ひと ゆめ みどり  
第67回 信濃から 未来へつなぐ 森づくり

# 全国植樹祭 ながの 2016

## ◆ 天皇皇后両陛下お手植え・お手播きの様子 ◆

第67回全国植樹祭 記録誌より抜粋(長野県作成)

記念式典 ~ひと ゆめ みどり 信濃から 未来へつなぐ 森づくり~

### ◆ 天皇皇后両陛下お手植え・お手播き

天皇皇后両陛下には長野県の歴史・文化に関わりのある樹種、地域の森林を代表する樹種から、苗木のお手植えと種子のお手播きを賜りました。記念樹は長野県の森づくりのシンボルとして、大切に育てていきます



天皇陛下お手植え (ヒノキ、ウラジロモミ、コウヤマキ)



天皇皇后両陛下お手播き (天皇陛下：カラマツ、クリ 皇后陛下：シラカバ、ナナカマド)



皇后陛下お手植え (シナノキ、タカトオコヒガンザクラ、ミズメ)

